

ローソンカップ高校生弓道大会要項（通信方式）

- 1 趣 旨 鳥取県の高校生を対象に、弓道の競技力向上、正しい技術の習得や心身の鍛錬を行なうとともに、一層の能力向上を目指す。
- 2 主 催 公益財団法人鳥取県スポーツ協会
- 3 主 管 鳥取県立武道館
- 4 特別協賛 株式会社ローソン
- 5 後 援 鳥取県弓道連盟
- 6 期 日 令和2年12月12日（土） 競技開始 9時00分～
- 7 会 場 各高校活動弓道場
- 8 参加資格 (1) 鳥取県の高等学校弓道部に所属し、練習に参加している者。
(2) 高校1・2年生である者。
(3) 各校男女各9名以内とする。全出場選手の合計人数の上限を200名とする。申込時点で上限を超えた場合は、参加人数の多い学校から出場チームを減らすこととする。
- 9 試合種目および内容
 - (1) 近的競技
 - (2) 男子の部・女子の部
 - (3) 団体競技（通信方式）
 - (4) 競技は36cm霞的、射程28m、的中数制とする。
 - (5) 行射は立射とし、同一の立ちにおける弓具の共用は認めない。
 - (6) 団体競技
 - (ア) 3人1チームとし、各自16射を行い、合計48射の総的中数により順位を決定する。
 - (イ) 当日の欠席により3人が2人になった場合は団体として認める。申込時の2人チームは団体として認めない。また、欠員の補充は競技開始前までに本部に連絡すれば認めることとするが、立順の変更、途中の選手変更は認めない。
 - (ウ) 男女の混成チームは認めない。
 - (エ) 同中の場合は、該当チームによる射詰め競射を行う。
 - (オ) 1立目が終了した時点で、各校の記録を鳥取県立武道館の記録本部まで送信する。記録はプログラムに記載した記録および看的の表示を撮影したものを送信すること。
 - (カ) 記録本部は競技記録を集計し、順次SNSに記録をアップする。また、事前登録されたメールに結果を随時送信する。
 - (キ) 立順は事前に送付したプログラムの立順どおりに行うこと。ただし、複数射場で同時に実施することは可能とするが、立順は変更しないこと。
 - (ク) 競技開始前の付矢（事前練習）および巻藁は認めることとする。
- 10 日 程
 - (1) 競 技（各高校活動弓道場）
男 子 1 回 戦 終了後に記録送信 ⇒ 記録本部で記録の確認

女子 1 回 戦 終了後に記録送信 ⇒ 記録本部で記録の確認

※男女各 4 回戦まで同様に繰り返す。

※記録集計ができしだい、順次SNSに記録をアップする。また、事前登録されたメールに結果を随時送信する。

順位 決定 競 射 1 立ごとに記録送信 ⇒ 記録本部で記録の確認

※順位が決定するまで同様に繰り返す。

※記録集計ができしだい、順次SNSに記録をアップする。また、事前登録されたメールに結果を随時送信する。

11 競技規則 競技は鳥取県高等学校体育連盟弓道競技規則、公益財団法人全国高等学校体育連盟弓道競技規則、公益財団法人全日本弓道連盟競技規則による。

12 表 彰 男女とも第3位までに賞状、副賞を授与します。

13 申込方法 (1) 別紙の申込用紙に所定事項を記入の上、**e-mail**で送信する。

※申込書は鳥取県立武道館ホームページからダウンロード可能です。

(2) 参加費 無料

(3) 申込先 〒683-0853 米子市両三柳3192-14 鳥取県立武道館

担当者 本田 洋平

電話 (0859) 24-9300 (050) 3531-4701

ファクシミリ (0859) 24-9311

ホームページ <http://www.budoukan.jp/>

e-mail budoukan@gamma.ocn.ne.jp

(4) **申込締切 令和2年11月11日(水) 必着**

参加、不参加にかかわらず必ず送付して下さい。

14 個人情報の取扱いについて（目的外の使用は禁じられています。）

(1) 参加申込書に記載された情報の取扱い

(ア) 大会プログラムに記載します。

(イ) 氏名、立順、記録等が掲示板へ記載されることがあります。

(2) 競技結果（記録）等の取扱い

(ア) 大会記録、大会報告書、当館HP等に掲載します。

(イ) 報道関係機関により、新聞、雑誌等に掲載されることがあります。

(3) 肖像権の取扱い

(ア) 報道関係機関等が撮影した写真が新聞、雑誌、大会報告書、当館HP等で公開されることがあります。

(イ) 報道関係機関が撮影した映像が中継・録画放送されることがあります。

15 新型コロナウイルス感染防止対策

(1) 大会に参加する選手、コーチ、運営スタッフ等は、大会の2週間前から検温結果及び、体調について記録し体調管理に努める。当日、自宅で検温を行い、体調不良や発熱等の風邪症状がある場合は参加できない。このことを徹底すること。

(2) 付き添い、送迎の方も含め、**必ずマスクを着用（試合、練習時以外）**すること。

(3) 活動前後の消毒・こまめな手洗い・うがいを徹底すること。

(4) 3つの密（密閉・密集・密接）を避ける活動の工夫

①練習、試合以外では人と人との間隔は2mとること。

- ②密集しない空間確保の工夫、近距離での会話や発声等を避ける工夫をすること。
- ③入口ドアや窓も可能な限り開放した状態にすること。
- (5) 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと（応援の矢声（よしっ等）は禁止、拍手のみとする）。
- (6) 感染予防のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (7) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (9) 各高校活動弓道場の感染防止対策に従って実施すること。
- (10) 各団体責任者は参加者の「氏名」、「電話番号」、「居住市町村」を大会当日までに把握し、感染者が発生した場合は、速やかに提出できるよう準備しておくこと。

16 その他

- (1) 参加選手全員に株式会社ローソンから参加賞が贈られます（後日配布（入賞校には賞状、副賞と併せて））。
- (2) 安全対策
指導者は試合場内外における参加者の行動に十分注意し、事故の防止に努めること。各団体または個人においてスポーツ傷害保険に加入するのが望ましい。